中日理論言語学研究会第６３回例会　　２０２５年1月２６日（日）
於 同志社大学大阪サテライト・キャンパス

# 広東語・北京語・日本語・朝鮮語における副詞表現の対照言語学的研究
## ― 特に動詞に後置された要素の文法化に着目して ―

塚本秀樹・許 文傑（関西外国語大学）
htsuka@kansaigaidai.ac.jp / 2394798575@qq.com

## １．序論

(1) 本発表の目的

(A) 広東語・北京語・日本語・朝鮮語の副詞表現に関する類似点と相違点

(B) 特に動詞に後置された要素の文法化に着目，対照言語学からのアプローチで考察

(C) 各言語間の相違は，何を意味し，またどのように捉えるべきか。

(D) 言語類型論研究にいかにかかわってくるか。

(2) 本発表の流れ

(A) 第 2 節～第 6 節 ― 許文傑が広東語･北京語･日本語の対照について許文傑（2024, 2025）に基づき発表

(B) 第 7 節～第 9 節 ― 塚本が日本語と朝鮮語の対照を上記 (2A) に関連づけて発表

## ２．広東語・北京語・日本語に関する代表的な先行研究とその問題点

(3) 代表的な先行研究

(A) 日本語における副詞に関するもの： 仁田（2002）

(B) 言語類型論から見た副詞の語順に関するもの: 刘丹青(2000, 2001), 劉丹青(2013), 堀江・秋田・北野（2021）

(C) 広東語における文末助詞に関するもの： 邓思颖（2006, 2022），飯田（2019）

(4) 先行研究の問題点

(A) 邓思颖（2006）― 枠構造の冗長性という統語論的な観点から，広東語における副詞的後置成分について考察しているが，アスペクトへの文法化には言及していない。

(B) 刘丹青（2000, 2001）― 語順類型論の観点から，広東語の副詞生起位置の特殊性について論述しているが，日本語や北京語は考察の対象に含まれていない。

## ３．広東語における副詞表現と，それに対応する北京語・日本語の表現

(5) 広東語の副詞に関する 3 種類の表現形式

**《Ⅰ型》「副詞＋動詞」型**

〔広東語〕　佢　<u>又</u>　食　　医　　頭痛　嘅　药　了。
　　彼　再び　食べる　治す　頭痛　の　薬　テンス
〔北京語〕　他又吃头痛药了。
〔日本語〕　彼は再び頭痛薬を飲んだ。

**《Ⅱ型》「動詞＋副詞的後置成分」型**

〔広東語〕　佢　食　**<u>翻</u>**　医　　頭痛　嘅　药　　了。
　　彼　食べる　再び　治す　頭痛　の　薬　テンス
（北京語と日本語ではこの型による表現は不可能）

**《Ⅲ型》「副詞＋動詞＋副詞的後置成分」型**

〔広東語〕　佢　<u>又</u>　食　**<u>翻</u>**　医　　頭痛　嘅　药　　了。
　　彼　再び　食べる　再び　治す　頭痛　の　薬　テンス
（北京語と日本語ではこの型による表現は不可能）

(6) 日本語では，広東語の「副詞的後置成分」のように副詞が動詞に後続することはできないが，複合動詞の後項に位置する動詞がアスペクトや様態を表現することは可能である。

（例）「埋（〜し｛終わる／終える｝）」
〔広東語〕《Ⅱ型》　我　睇　　**<u>埋</u>**　　份　報　就　去　买　餸。
　　私　読む　**<u>−終わる</u>**　この　新聞　−たら　行く　買う　おかず
〔日本語〕　この新聞を読み**<u>終わっ</u>**たら，買い物に行く。

(7) 北京語でも，日本語と同様に副詞が動詞に後続することはできないが，「结果补语」を用いて表現することは可能である。

（例）「埋（〜し｛終わる／終える｝）」
〔広東語〕《Ⅱ型》　我　睇　　**<u>埋</u>**　　份　報　就　去　买　餸。
　　私　読む　**<u>−終わる</u>**　この　新聞　−たら　行く　買う　おかず
〔北京語〕　我读<u>完</u>这份报纸就去买菜。

(8) 広東語における「副詞的後置成分」が有する意味を表す際，日本語で複合動詞が成立しない場合，また北京語で適格な「补语」が存在しない場合は，両言語ともに一般的副詞を用いて表現せざるを得ない。

（例）「開（ずっと）」
〔広東語〕《Ⅱ型》　我　用　　**<u>開</u>**　富士　嘅　菲林　　嚟。
　　私　使う　ずっと　富士　の　フィルム　テンス
〔日本語〕　私は**<u>ずっと</u>**富士のフィルムを使ってきた。
〔北京語〕　我<u>一向</u>用的是富士的胶卷。

## ４．広東語における 2 種類の成立状況

### ４．１．《Ⅱ型》は成立可能，《Ⅲ型》は成立不可能な場合 —《成立状況Ⅰ》

(9) 該当する副詞

「哋（割と）」，「得滞（とても；非常に）」，「硬（きっと）」，「梗（きっと）」，「吓（ちょっと）」，「過头（～し過ぎる）」，「法（～し方）」

(10)「哋（割と）」

〔広東語〕《Ⅱ型》　廣東人　食食　　**哋**　辣椒。
広東人　食べ-食べ　割と　辛子

《Ⅲ型》 * 廣東人｛**几／蛮**｝食食**哋**辣椒。

〔北京語〕　广东人**挺**能吃辣椒。

〔日本語〕　広東人は**割と**辛子を食べれる。

(11)「得滞（とても；非常に）」

〔広東語〕《Ⅱ型》　今日　　边　　**得滞**　　了。
今日　　疲れる　　非常に　テンス

《Ⅲ型》 * 今日｛**非常／太**｝边**得滞**了。

〔北京語〕　今天累**极**了。　／　* 今天｛**非常／太**｝累**极**了。

〔日本語〕　今日は疲れ**過ぎた**。　／　* 今日は**とても**疲れ**過ぎた**。

### ４．２．《Ⅱ型》と《Ⅲ型》の両方が成立可能な場合 —《成立状況Ⅱ》

(12) 該当する副詞

「生嗮（いつも）」，「實（しっかり）」，「翻（再び）」，「開（ずっと）」，「横嗮（いつも）」，「先（先に）」，「添（また）」，「咁滞（そろそろ）」，「住（～ている）」，「紧（～ている）」，「过（～ことがある）」，「翻（～し直す）」，「開（～てきた）」，「定（～ておく）」，「落（～ておく）」，「埋（～し終わる）」

(13)「生嗮（いつも）」

〔広東語〕《Ⅱ型》　隔篱　　嘅　　细路　　嘈　　**生嗮**。
お隣さん　の　　子供　　騒ぐ　　いつも

《Ⅲ型》　隔篱　　嘅　　细路　　**整日**　　嘈　　**生嗮**。
お隣さん　の　　子供　　いつも　　騒ぐ　　いつも

〔北京語〕　隔壁家的小孩儿**总是在**吵。

〔日本語〕　お隣さんの子が**いつも**騒い**でいる**。

(14)「實（しっかり）」

〔広東語〕《Ⅱ型》　山田　　揸　　**實**　　個支　笔。
山田さん　握る　しっかり　その　　ペン

《Ⅲ型》　山田　　**紧紧哋**　　揸　　**實**　　個支　笔。
山田さん　しっかり　　握る　　しっかり　その　　ペン

〔北京語〕　山田**紧紧地**握**着**那只笔。

〔日本語〕　山田さんはそのペンを**しっかり**握っ**ている**。

## ５．広東語における「副詞的後置成分」のアスペクトへの文法化

(15)「實（しっかり）」

〔広東語〕《Ⅰ型》　山田　**紧紧哋**　揸　個支　笔。

山田さん　しっかり　握る　その　ペン

《Ⅱ型》　山田　揸　**實**　個支　笔。

山田さん　握る　しっかり　その　ペン

《Ⅲ型》　山田　**紧紧哋**　揸　**實**　個支　笔。

山田さん　しっかり　握る　しっかり　その　ペン

〔北京語〕　山田**紧紧地**握**着**那只笔。

〔日本語〕　山田さんはそのペンを**しっかり**握っ**ている**。

(16)《Ⅲ型》において一般的副詞（ (15) の例では「**紧紧哋**」）を省くと，《Ⅱ型》になるが，表している意味は両者間で違いがない。

(17)《Ⅲ型》において一般的副詞（ (15) の例では「**紧紧哋**」）をそのままにし，副詞的後置成分（ (15) の例では「**實**」）を省くと，《Ⅰ型》になるが，《Ⅲ型》で表されている「〜ている」というアスペクトの意味が表されなくなる。

(18)《Ⅲ型》における副詞的後置成分は，実質的な意味が保持されていると，前置された副詞とは意味的な冗長となるため，実質的な意味と自立性が失われてアスペクト的機能に移行する文法化が生じていると言える。

(19)《成立状況Ⅰ》の場合の副詞的後置成分と，《成立状況Ⅱ》の場合の副詞的後置成分を比べると，前者よりも後者の方が文法化が進んでいると判断される。

(20)「〜住（〜ている）」

〔広東語〕《Ⅱ型》　山田　揸　**住**　個支　笔。

山田さん　握る　テイル　その　ペン

〔北京語〕　山田握**着**那只笔。

〔日本語〕　山田さんはそのペンを握っ**ている**。

(21) 特に《成立状況Ⅱ》の場合の副詞的後置成分の中には，実質的な意味と自立性がほとんど失われ，アスペクトに完全に文法化したものも存在する。

## ６．関連する問題

### ６．１．塚本（2012）

(22) 日本語 ― 複合動詞が成立し，その後項に生じる動詞がアスペクトや様態を表す。
朝鮮語 ― 複合動詞が成立しないため，日本語における複合動詞の後項が表す意味は，単一動詞に先行する副詞で表現するしかない場合が圧倒的に多い。
（塚本 2012: 第 9 章）

(23) 本発表における考察により，
広東語 ― 日本語と非常によく似た状況になっている。
北京語 ― 朝鮮語と非常によく似た状況になっている。

※以上のことについては，第 7 節で詳しく論述する。

### ６．２．沈力・韋彤（2023）

(24) 馬山チワン語において，名詞句構造では，修飾語が被修飾語に後続するという統語規則があり，また動詞句構造では，修飾語は先行副詞と後続副詞の 2 種類に分けられる（沈力・韋彤 2023）。

(25) 広東語は，主要語と付加語の位置関係について馬山チワン語と非常によく似た状況になっている。

## ７．日本語と朝鮮語における複合動詞（塚本 2012）

### ７．１．両言語間の類似点

（ア）「動詞連用形＋動詞」という形式

日本語 ―― 泣き叫ぶ，飲み歩く，たたき壊す，押し上げる，積み残す，追い付く，押し込む，降り出す，消えかかる，読み返す，食べ過ぎる，助け合う，書き直す，買い損なう，取り囲む，振り向く，取り組む，…

朝鮮語 ―― 돌아다니다<tolatanita>（歩き回る），일어서다<ileseta>（立ち上がる），뛰어들다<ttwietulta>（飛び込む ;駆け込む），찔러죽이다<ccillecwukita>（刺し殺す），받아들이다<patatulita>（受け入れる ; 取り入れる），갈아타다<kalathata>（乗り換える），지켜보다<cikhyepota>（見守る ; 見届ける），…

（イ）先行する節・文が一旦中止しながらも，後続する節・文にかかっていき，両者が接続される現象

(26) a. 家に帰り，早く寝た。
b. 집에 돌아가 일찍 잤다.
Cip-ey tolaka ilccik cassta.

(27) a. 途中で車が故障し，本当に困った。
b. 도중에 차가 고장 나 몹시 곤란했다.
Tocwung-ey cha-ka kocang na mopsi konlanhayssta.

（ウ）「自立語＋自立語」の存在

(28) 寺村（1984: 167-171）

(A) Ｖ－Ｖ：呼び入れる，握りつぶす，殴り殺す，ねじ伏せる，出迎える，…

(B) Ｖ－ｖ： 降り始める，呼びかける，思い切る，泣き出す，…

(C) ｖ－Ｖ： 差し出す，振り向く，打ち立てる，引き返す，…

(D) ｖ－ｖ： 払い下げる，（話を）切り上げる，（仲を）取り持つ，（芸を）仕込む，とりなす，…

(29) 内山（1997）からの具体例

비벼끄다<pipyekkuta>（もみ消す），구워먹다<kwuwemekta>（焼いて食べる），걸어잠그다<kelecamkuta>（（鍵を）かける），싸워이기다<ssaweikita>（戦い勝つ），즐겨먹다<culkyemekta>（好んで食べる），모여앉다<moyeancta>（集まって座る），바꿔타다／갈아타다<pakkwethata/kalathata>（乗り換える），넘쳐나다<nemchyenata>（あふれ出る），나돌다<natolta>（出回る）

（エ）「語彙的複合動詞」と「統語的複合動詞」の 2 種類の存在

（オ）前項が後項の手段や方法を表す複合動詞の存在

## ７．２．両言語間の相違点

（ア）日本語 ── 後項が自立性を失った複合動詞が比較的多い。

朝鮮語 ── そういった複合動詞が非常に少ない。

(30) ～出す，～かける，～かかる，～込む，～上がる，～上げる，～立てる，～立つ，～つける，～つく，～返す，～返る，～回す，～過ぎる，～合う，～通す，～抜く，～切る，～尽くす，～直す，～損なう，～うる，…

（イ）日本語で統語的複合動詞を用いて表現することができる場合に，朝鮮語では複合動詞として成立することが認められない。

(31) a. ［s［sベルが鳴る］終わった］

b. ［s父が［s（父が）ビールを飲む］続けた］

c. ［s桜の花が［s（桜の花が）咲く］始めた］

(32) a. 종 소리가 끝났다.

Cong soli-ka kkuthnassta.

（直訳：鐘（の）音が終わった。）

b. 아버지가 맥주를 계속 먹었다.

Apeci-ka maykcwu-lul kyeysok mekessta.

（直訳：父がビールを継続（＝続けて）飲んだ。）

c. 벚꽃이 피기 시작하였다.

Peckkoch-i phi-ki sicakhayessta.

（直訳：桜の花が咲くこと（を）始めた。）

（ウ）日本語 ── 後項が様態を表す複合動詞が数多く存在する。
朝鮮語 ── そういった複合動詞はなくはないが，非常に限られている。

(33) a. チョルスは御飯を食べ過ぎた。
b. 철수는 밥을 지나치게 먹었다.
Chelswu-nun pap-ul cinachi-key mekessta.
（直訳：チョルスは御飯を過ぎるように食べた。）

(34) a. 友達は書類を出し間違えた。
b. 친구는 서류를 잘못 내었다.
Chinkwu-nun selyu-lul calmos nayessta.
（直訳：友達は書類を間違って出した。）

(35) a. 太郎は次郎と殴り合った。
b. 다로는 지로하고 서로 때렸다.
Talo-nun Cilo-hako selo ttaylyessta.
（直訳：太郎は次郎と互いに殴った。）

(36) a. 師匠は弟子に芸を教え込んだ。
b. 선생님은 제자에게 기술을 {잘／세심히} 가르쳤다.
Sensayngnim-un ceyca-eykey kiswul-ul {cal/seysim-hi} kaluchyessta.
（直訳：師匠は弟子に芸をしっかりと教えた。）

（エ）朝鮮語における統語的複合動詞が，日本語においては本発表で定義している複合動詞ではなく，「動詞連用形＋接続語尾『て』＋動詞」という形式に対応して表現される。

(37) (A) アスペクト
(i) ～ 있다<issta>（いる；ある）＝ ～ている
～ 계시다<kyeysita>（いらっしゃる）＝ ～ていらっしゃる
(ii) ～ 버리다<pelita>（捨てる）＝ ～てしまう
(iii) ～ 가다<kata>（行く）＝ ～ていく
～ 오다<ota>（来る）＝ ～てくる
（例）학생이 의자에 앉아 있다.
Haksayng-i uyca-ey anca issta.
（学生が椅子に座っている。）

(B) もくろみ
(i) ～ 놓다<nohta>／두다<twuta>（置く）＝ ～ておく
(ii) ～ 보다<pota>（見る）＝ ～てみる
（例）파티를 위해서 과자를 많이 만들어 놓았다.
Phathi-lul wihayse kwaca-lul manhi mantule nohassta.
（パーティーのためにお菓子をたくさん作っておいた。）

(C) やりもらい

～ 주다<cwuta>（やる；くれる）＝ ～てやる

～ 드리다<tulita>（差し上げる）＝ ～て差し上げる

（例）아들에게 장난감을 사 주었다.

Atul-eykey cangnankam-ul sa cwuessta.

（息子におもちゃを買ってやった。）

（オ）朝鮮語で複合動詞を用いて表現することができる場合に，日本語においては本発表で定義している複合動詞としては成立せず，「動詞連用形＋接続語尾『て』＋動詞」という形式で表現する必要があるものがかなりの割合で見受けられる。

(38) 구워먹다<kwuwemekta>（焼いて食べる）

（カ）両言語ともに複合動詞としては成立するが，前項と後項が両言語でちょうど逆の順序になっている複合動詞が存在する。

(39) a. 学生は d｛を／から｝b に書き直した。

b. 학생은 d{를／에서} b 로 고쳐 썼다.

Haksayng-un tii{-lul/-eyse} pii-lo kochye ssessta.

(40) a. チョルスは半袖｛を／から｝長袖に着替えた。

b. 철수는 반소매{를／에서} 긴 소매로 ⎧ 바꿔 입었다. ⎫
⎩ 갈아입었다. ⎭

Chelswu-nun pansomay{-lul/-eyse} kin somay-lo ⎧ pakkwe ipessta. ⎫
⎩ kalaipessta. ⎭

(41) a. ヨンヒは母の話を聞き流した。

b. 영희는 어머니의 얘기를 흘려들었다.

Yenghuy-nun emeni-uy yayki-lul hullyetulessta.

（キ）朝鮮語 ── 語彙的意味が類似した動詞が前項と後項に入っている複合動詞が比較的多い。

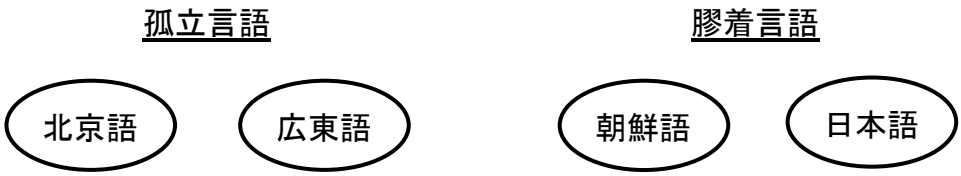
日本語 ── そういった複合動詞はなくはないが，非常に限られている。

(42) 동여매다<tongyemayta>（縛る）

＝동이다<tongita>（縛る）＋매다<mayta>（縛る）

## ８．言語類型論の観点からの考察

(43) 形態論的言語類型論に関する 4 言語の位置づけ




☆ 孤立言語の広東語は，同じ孤立言語の北京語よりも膠着言語に寄っている(?)。

(44) 関連する考察Ａ（風間 2024）

- ● 客観的基準から「孤立型言語」を選定した上で，Grambank を活用し，①主語・目的語・動詞の語順，②派生接辞，③テンス，④名詞の重複，⑤動詞の重複，⑥動詞連続，などの統語現象について考察している。
- ● その結果，「孤立型言語」は，③について「テンスを有さない」，⑤について「動詞の重複を有する」という点において強い傾向を示すことを明らかにしている。

☆ このように，同じ孤立言語の中でも，孤立言語性にある程度の段階が認められることになる。

(45) 関連する考察Ｂ（江畑 2024）

- ● サハ語（アルタイ諸語チュルク語族）の多回接辞（-(i)telee, -telee, -ielee などの異形態）は，基本的には行為の複数性，動作主の複数性，動作対象の複数性を表すが，多機能を有しており，「バラバラの行為・出来事」を一括する，と論じている。

☆ サハ語でこの多回接辞を用いて表現するところを，満洲語やシベ語（ともにアルタイ諸語ツングース語族）では副詞を動詞に前置して表現する（満洲語については久保智之氏，シベ語については児倉徳和氏による personal communication）。

## ９．結論

(46) 結論の要点

(A) 副詞に関する 3 種類の表現形式のうち，《Ⅱ型》「動詞＋副詞的後置成分」型と，《Ⅲ型》「副詞＋動詞＋副詞的後置成分」型は，広東語では数多く見出されるのに対して，北京語と日本語には見られない。

(B) 日本語と北京語では，広東語の「副詞的後置成分」のように副詞が動詞に後続することはできないが，日本語では複合動詞の後項に位置する動詞がアスペクトや様態を表現することは可能であり，また北京語では「结果补语」を用いて表現することは可能である。

(C) 広東語には，《Ⅱ型》「動詞＋副詞的後置成分」型は成立可能であるが，《Ⅲ型》「副詞＋動詞＋副詞的後置成分」型は成立不可能である場合と，《Ⅱ型》と《Ⅲ型》の両方が成立可能な場合の 2 種類の成立状況がある。

(D)《Ⅲ型》における副詞的後置成分は，実質的な意味が保持されていると，前置された副詞とは意味的な冗長となるため，実質的な意味と自立性が失われてアスペクト的機能に移行する文法化が生じている。

(E) 広東語における，北京語と日本語には見られない《Ⅲ型》は，副詞的後置成分のアスペクトへの文法化が進んでいることに起因しており，広東語は日本語に比べると，アスペクト表現が少ないという空白を埋める結果となっている。

(F) 副詞表現については，広東語は日本語と非常によく似ており，北京語は朝鮮語と非常によく似た状況になっている。また，主要語と付加語の位置関係については，広東語は馬山チワン語と非常によく似た状況になっている。

(G) 形態論的言語類型論の観点からすると，広東語と北京語は孤立言語であり，日本語と朝鮮語は膠着言語であるが，異なるタイプである孤立言語と膠着言語を関係づけて論ずることが可能となる。

**主要参考文献**

**日本語文献**


江畑冬生（2024）「サハ語の多回接辞（iterative）の多機能性： 同系言語・周辺言語との対照から」東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題「ユーラシア諸言語における談話の文法」2024 年度第 2 回研究会口頭発表． 東京外国語大学本郷サテライト，2024 年 12 月 7 日.

郡司隆男（2011）「日本語はどんな言語か？―類型論的観点からの日本語―」『Theoretical and Applied Linguistics at Kobe Shoin : トークス』14: 1-14. 神戸：神戸松蔭女子学院大学言語科学研究所.

堀江薫・秋田喜美・北野浩章（2021）『言語類型論』，最新 英語学・言語学シリーズ 12. 東京：開拓社.

飯田真紀（2019）『広東語文末助詞の言語横断的研究』東京：ひつじ書房.

風間伸次郎（2024）「「孤立型言語」の内的関連特徴―Grambank を活用して―」日本言語学会第 169 回大会ポスター発表．北海道大学札幌キャンパス，2024 年 11 月 10 日．（発表要旨は『日本言語学会第 169 回大会要旨集』101-102 に掲載）

許文傑 (2024)「広東語における副詞的後置成分のアスペクトへの文法化について―北京語・日本語との対照的アプローチ―」日本言語学会第 169 回大会ポスター発表． 北海道大学札幌キャンパス，2024 年 11 月 10 日．（発表要旨は『日本言語学会第 169 回大会要旨集』126-127 に掲載）

許文傑（2025）「日本語・広東語・北京語における副詞表現の対照言語学的研究―アスペクトへの文法化を中心に―」修士論文，関西外国語大学.
日中対照言語学会（編）（2016）『中国語の補語』東京：白帝社.
仁田義雄（2002）『副詞的表現の諸相』東京：くろしお出版.
劉丹青（著），杉村博文他（訳）（2013）『語順類型論と介詞理論』大阪：日中言語文化出版社.
沈力・韋彤（2023）「連続変調から見た馬山チワン語の語形成」沈力（編）『類型論から見た語の本質』15-45. 東京：ひつじ書房.
寺村秀夫（1984）『日本語のシンタクスと意味　第Ⅱ巻』東京：くろしお出版.
塚本秀樹（2012）『形態論と統語論の相互作用―日本語と朝鮮語の対照言語学的研究―』東京：ひつじ書房.
塚本秀樹（2013）「日本語と朝鮮語における複合動詞としての成立・不成立とその様相―新影山説に基づく考察―」影山太郎（編）『複合動詞研究の最先端―謎の解明に向けて―』301-329. 東京：ひつじ書房.
内山政春（1997）「現代朝鮮語における合成用言について―〈用言第Ⅲ語基＋用言〉の分析―」『朝鮮学報』165: 39-114，朝鮮学会.

**中国語文献**

邓思颖（2006）后置成分和汉语方言语法的比较，《第三届汉语方言语法国际研讨会》，暨南大学.
邓思颖（2022）《粤语语法讲义》，香港商务印书馆.
刘丹青（2000）粤语句法的类型学特点，《亚太语文教育学报/Asia Pacific Journal of Language in Education》3(2): 1-30.
刘丹青（2001）汉语方言的语序类型比较，史有为编《从语义信息到类型比较》: 222-244，北京语言文化大学出版社.
刘丹青（2013）粤语“先”“添”虚实两用的跨域投射解释，曹广顺等编《综古述今钩深取极：语言暨语言学专刊系列之五十》下册，中央研究院语言研究所（中国台北）: 951-970.
吕军伟，俞健（2021）语言接触视野下东南汉语方言副词后置词序及功能演变，《民族語文》第 1 期: 11-22.

**付記**

本発表は，次の研究による成果の一部である。

- 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究 (C) ））（研究期間：2022～2024 年度，研究課題名：日本語と朝鮮語の文法体系における名詞化の位置づけに関する対照言語学的研究，研究代表者：塚本秀樹，課題番号：22K00531）
- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究プロジェクト（研究期間：2024～2026 年度，研究課題名：ユーラシア諸言語における談話の文法，研究代表者：児倉徳和）